

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 19 日(2022.1.19)

【公開番号】特開 2021-61920(P2021-61920A)

【公開日】令和 3 年 4 月 22 日(2021.4.22)

【年通号数】公開・登録公報 2021-019

【出願番号】特願 2019-187140(P2019-187140)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 1 月 11 日(2022.1.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、可変表示結果として特定表示結果が表示されたときに遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

前記遊技制御手段からの情報にもとづいて演出を実行可能な演出実行手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、

前記有利状態とすることを決定する決定手段と、

前記決定手段の決定より前に前記有利状態となることを判定する判定手段と、

通常状態よりも可変表示が実行されやすい特別状態に制御可能な状態制御手段と、

30

前記判定手段が前記有利状態となると判定したことにもとづいて判定結果情報を含む複数種類の情報を前記演出実行手段に送信可能な情報送信手段と、を含み、

前記判定手段は、前記状態制御手段が前記特別状態に制御するよりも前に前記特別状態となることを判定可能であり、

前記情報送信手段は、前記判定手段が前記特別状態となると判定したことにもとづいて特別情報を送信可能であり、

前記状態制御手段は、前記通常状態において前記特別情報にもとづく可変表示の可変表示結果として前記特定表示結果とは異なる特別表示結果が表示された場合に、該特別表示結果にもとづいて前記通常状態から前記特別状態に制御し、

前記演出実行手段は、

40

前記判定結果情報を受信したときに、該判定結果情報にもとづいて先読み演出を実行可能であり、

前記特別情報を受信した後に前記判定結果情報を受信した場合に、該判定結果情報にもとづく前記先読み演出の実行を制限可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 0 0 0 7 】

上記目的を達成するため、本発明に係る遊技機は、
可変表示を行い、可変表示結果として特定表示結果が表示されたときに遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 など）であって、
遊技の進行を制御する遊技制御手段（例えば CPU 1 0 3 など）と、
前記遊技制御手段からの情報にもとづいて演出を実行可能な演出実行手段（例えば演出制御コマンドに基づいて演出を実行する演出制御用 CPU 1 2 0 など）と、を備え、
前記遊技制御手段は、
前記有利状態とすることを決定する決定手段（例えばステップ S 1 1 0 の処理を実行する CPU 1 0 3 など）と、
前記決定手段の決定より前に前記有利状態となることを判定する判定手段（例えばステップ S 1 2 1 3 の処理を実行する CPU 1 0 3 など）と、
通常状態よりも可変表示が実行されやすい特別状態に制御可能な状態制御手段（例えばステップ 0 5 9 A K S 0 2 5 の処理を実行する CPU 1 0 3 など）と、
前記判定手段が前記有利状態となると判定したことにもとづいて判定結果情報を含む複数種類の情報を前記演出実行手段に送信可能な情報送信手段（例えば演出制御コマンドを送信する CPU 1 0 3 など）と、を含み、
前記判定手段は、前記状態制御手段が前記特別状態に制御するよりも前に前記特別状態となることを判定可能であり（例えばステップ 0 5 9 A K S 0 0 1 の処理を実行するなど）、
前記情報送信手段は、前記判定手段が前記特別状態となると判定したことにもとづいて特定可能な特別情報を送信可能であり（例えば「ハズレ（時短）」の表示結果指定コマンドを送信可能であるなど）、
前記状態制御手段は、前記通常状態において前記特別情報にもとづく可変表示の可変表示結果として前記特定表示結果とは異なる特別表示結果が表示された場合に、該特別表示結果にもとづいて前記通常状態から前記特別状態に制御し、
前記演出実行手段は、
前記判定結果情報を受信したときに、該判定結果情報にもとづいて先読み演出を実行可能であり（例えばステップ S 1 6 1 の処理を実行可能であるなど）、
前記特別情報を受信した後に前記判定結果情報を受信した場合に、該判定結果情報にもとづく前記先読み演出の実行を制限可能である（例えばステップ 0 5 9 A K S 0 8 2 にて Y e s と判定した場合、ステップ 0 5 9 A K S 0 8 4 およびステップ S 1 3 0 4 の処理を実行するなど）、
ことを特徴とする。

10

20

30

40

50